

令和元年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

T.Yさん

●留学先

国/都市：カナダ/レッドディア（アルバータ州）

外国の高校：Lindsay Thurber Comprehensive High School

●留学期間

2019年8月26日～2020年6月26日

●留学先での活動、留学で学んだこと

<Red Deer/ レッドディア>

私が留学先に選んだのはカナダ・アルバータ州のレッドディアという街です。トロントやバンクーバー等の大都市に比べて人口は約10万人と少なく、自然に囲まれた静かな場所です。それにも関わらず、私の通った高校はその地域で最も規模が大きく、全校生徒約2,000人の中に、10人ほどの日本からの留学生を含む、世界中から1年間に約80人も留学生が来ていました。留学生の割合だけでなく、地の学校の生徒の割合でも多民族国家であるカナダだからこそ、白人のカナダ人だけでなく、フィリピン系・中東・アフリカ・南米等、本当に様々な人がいる学校でした。はじめは、目の色・肌の色・母国語・出身等が多様に異なった、自分と同じ年代の学生たちが一つの場所に集まっている環境に驚きを隠せませんでした。

<高校生活/学業>

私が通ったカナダの高校では1年間に8教科、前期と後期で4教科ずつ学びます。また単位制であることから自分で教科と先生を選んで時間割を決めます。いわゆる「学級」というものはなく、代わりに月一回ほど自分のカウンセラーの先生と話す時間が設けられています。

私は数学等の主要科目に加え、キャリアアンドライフマネジメント（CALM）と呼ばれる授業や、ダンス、そして放課後のリーダーシップと呼ばれる授業を選択しました。

CALMでは高校卒業後の人生設計を考える授業、外部から講師を招いた講義、そしてたまに、授業と息抜きと兼ねて、映画の鑑賞をすることもありました。カナダで「映画」とはCALMの授業に限らず、学校での大切な教育題材の一つとして捉えられ

ているように感じました。私がよく覚えているのは授業の一つで鑑賞した、映画「幸せの力」です。ウィル・スミス主演の有名な映画ではありますが、私は授業で観たのが初めてでした。

ダンスの授業は選択科目として選びました。一つのジャンルに縛られず、ジャズ・ヒップホップ・コンテンポラリー・創作ダンス等、様々なダンスを学びました。ダンスの授業で楽しかったことは仲間と協力して、学期末にある「ショーケース」と言われるステージを作り上げていくことです。(写真1)はじめはコミュニケーションに困ったこともたくさんありましたが、最後まで楽しく、ステージをやりきりました。

リーダーシップの授業では、リーダーとは何か、どんな人物であるべきかを学ぶと同時に、学校全体の行事を企画し、生徒主体で行事を進めるための進行役や準備を行いました。一番大きな行事はクリスマス前の「Winter Formal」と呼ばれるパーティーです。(写真2)行事をスムーズに進めるためにどうすればよいか、パーティーのテーマはどうするか等細かな所まで考えることに加え、前日の準備作業、当日の会場設置まで仕事をこなすのは大変でありつつも、チームの友達と一緒に行動することはとても楽しく、やりがいがありました。

<高校生活 /チアリーディング>

私のカナダでの高校生活を充実させてくれたカギの一つは部活動です。学校の廊下で見かけたポスターをきっかけに、興味本位でチアリーディングのオーディションを受けました。小さい頃からバレエを習っていたこともあり、同じダンスとして一度やってみたかったのですが、良い機会に恵まれ無事合格した後に、チアリーディングのチームの一員になることができました。チームに日本人は私一人で、カナダの同じ世代の女の子たちがしゃべるスピードはとても速く、入って間もない頃は圧倒され、コーチの話す内容すら聞き取れないところから始まりました。学校の授業だけでも大変な中、必死に周りについていこうと回数を重ねるにつれ、友達の支えもあってだんだんと意思疎通がスムーズにできるようになってきました。チアリーダーの主な活動はフットボールやバスケットボールの試合の応援です(写真3)フットボールの試合は外で行われるため、とても寒い中での応援でしたが、チームのみんなで行った試合はどれも良い思い出です。

2月には学年集会で、3年生徒の卒業前最後のパフォーマンスがありました。緊張しつつも半年弱で、チアの面でも英語の面でも、ここまで来られたという達成感と、やっと本当にチームの一員になれた気がしてとても良い思い出ができました。

<ホストファミリー>

カナダ滞在中はホストファミリーと生活をしました。私のステイ先はホストマザー、猫、ベトナムからの留学生、私だけのとても静かなお家でした。ホストマザー自身が母国語である英語の他に、第二言語としてスペイン語を勉強中ということもあり、私の身になって物事を考え、宿題のアドバイスをくれたりと、とても恵まれた良い環境で留学を楽しめました。一般的に想像するような「家族がいる賑やかなステイ先」とは違いましたが、話好きなとっても料理の上手なお母さんで、学校がない週末も一緒に楽しめるアクティビティを考えたり、映画を観に行ったり、ショッピングモー

ルへ買い物に行ったりと、ステイ中の日々を楽しく過ごしました。一緒に観に行った映画の中に「若草物語」（原題：Little Women）があります。私のカナダ滞在中に公開されたため、内容も日本語訳もわからないまま映画を観ましたが、そこで留学中にリスニング力がついたことを実感できました。

そしてホストマザーとは帰国した今でもSNSを通してつながり、連絡を取り合っています。

<カナダの冬>

レッドディアで過ごした冬は、人生で初めて経験する寒さとの闘いでした。緯度が北緯52度と高いため、夏は朝5時頃に日が昇り、夜は10時まで日が沈みませんが、逆に冬は朝8時頃学校へ行く道でもまだ空は暗く、そして学校から帰ってくる4時頃にはもう日が沈み始めます（写真4）。冬はほぼ毎日がマイナス二桁で、雪が降り積もっていました。横浜では滅多に雪が降らないため、カナダで毎日のように雪色が見られることが嬉しかったのですが、だんだんと冬の寒さが厳しくなるにつれ、外へ出ることが辛くなりました（写真5）。最も寒かった日は-43℃、地球上で一番寒い場所になったと聞きました。学校では記念して留学生にTシャツが配られました（写真6）。

冬の間も少し日が出て暖かくなった週末には、ホストファミリーや学校の友達と、家の近くの凍った池でのスケートを楽しみました。

<パンデミック宣言>

1月の終わりから2月にかけて中国をはじめ、日本でも新型コロナウイルスが流行しているとのニュースを見ましたが、その頃、カナダを含む北米では何の心配もなく、ただ日本にいる家族や友達の心配をしていました。そしてついに私の住むアルバータ州でも一人目の感染者が確認されたとのニュースが広がりました。それまで何もなかった生活に一気に緊張が走り、3月半ばに大きな前触れもなく州内の公立校がすべて閉鎖されることが通知されました。

慣れない留学生活も半年を過ぎ、ようやく学校にもカナダの文化にも馴染んできたのと同時に、学期の変わり目で行われる最終試験を受け、2月から新しく後期の授業が始まったりと、ストレスを抱え必至になりながらも一生懸命になっている最中でした。

学校が閉鎖された後、1週間後には全主要科目、2週間後にはその他の残りの科目がオンライン事業で再開されました。政府や学校の対応の速さに驚きつつも、次々と国境や空港が閉鎖されていく中で帰国するかどうかを家族で話し合い、オンライン授業によってカナダを離れたとしても単位や成績の保障がされるということ等から、留学途中での一時帰国が決まりました。

<経験をどう生かすか>

この留学期間中、私個人だけでなくあまりにもたくさんのことが世界中で起こりました。パンデミック宣言、その影響による2020年東京五輪の延期、Black Lives Matterをはじめとする抗議活動等…。新たな時代の幕開けとなった2020年は多くの変化をもたらしました。世界は常に、そして急速に変わりつつあります。

私の留学経験で言えば、目標も何もかも中途半端なまま日本へ返ってきてしまったというのが本音です。まだやり切れていないこと、やらなければならなかったこともたくさんありました。それによって時間のもつ大切さ、その価値を知りました。新型コロナウイルスの感染を恐れながら家で過ごす中で、私が帰国してから家族との時間も自然と増え、皮肉にもその‘ステイホーム期間’に家族で過ごせることをとても幸せに感じました。私に限らず、様々な面で日常生活や自分を支えてくれる人の存在に改めて気づいた人はたくさんいるはずです。どんなに広い世界へ出ても、生涯大切にしたい友達というのは多くはつくれません。差別や偏見でなく国籍・言語・育った文化・その人のもつ色に関係なく出会った人、自分を成長させてくれる“友達”を大切にし、尊敬しあえることが今の世界には必要だと思います。

留学は単に言語を学ぶだけでなく、留学先の文化、その土地に住む人を知ることで視野が広がり、今まで見えなかった物事が見えるようになることで他人への理解ができるようになります。

高校生である今の私には、まだ経験も知識も浅くまだまだやるべきことや学ぶべきことがたくさんあります。この貴重な留学経験を無駄にせず、ここまで学んだことを次の新たな目標へとつなげていきたいと思っています。

最後に、私の留学を様々な面でサポートしてくださったすべての方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。



写真1 <ダンスの授業にて最終発表「ショーケース」/1月>



写真 2 <Winter Formal にて/12 月>



写真3 <チアリーディング フットボールの試合の応援にて/11月>

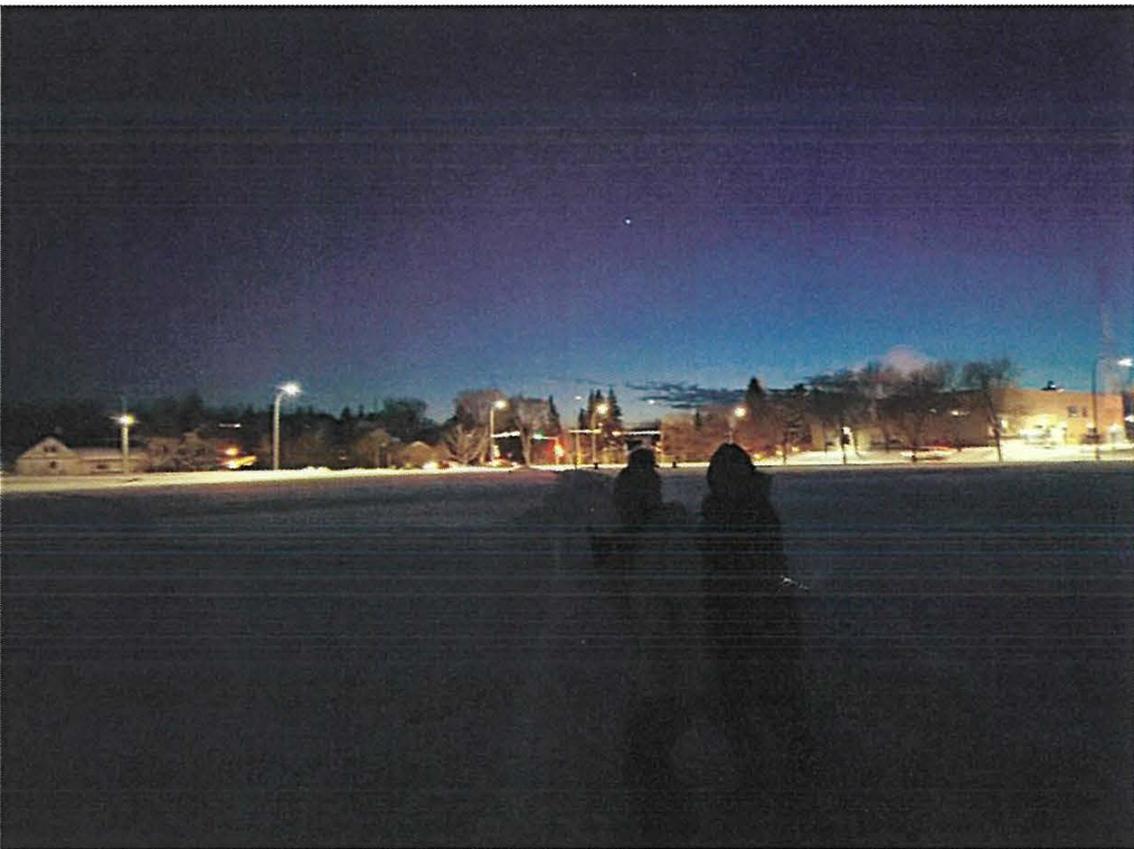


写真4 <学校帰り 友達とバス停まで/1月>



写真5 <カナダの雪景色>



写真6 <最低気温記念の T シャツ / -43°C を生き延びました>